

母校創立 110周年 記念号



尊敬する高松右門会長の後を継いでこの大役を仰せつかつてから、9年となり、この度、会長を退任させていたが、だくこととなりました。会長就任にあたつて、私なりには、この時期の意義を、次の百年に向けての基盤の整備にあると考え、財政基盤の確立と会員の帰属意識の強化ということに努めてまいりました。

お陰様で、個人会費制の導入により、年間4百万円を超える会費納入が安定して見込まれることとなり、母校との絆の強化も一定の成果はありましたが、若い世代の結果を図るという課題は、達成されておりません。引き続き、皆様のご協力ををお願いするとともに、この間、皆様から頂いたご支援に心より感謝いたします。

この度、母校の創立110周年にあたり、徳田靖之前会長から会長職を引き継ぐことになりました。高校21回生の菅健一と申します。鶴嶺会も百周年で念願の鶴嶺会館建設、平成25年より「一年に一度、母校にエールを」と個人年会費制をスタートし、今年度令和元年度の会費入金について、一つ松会、別中、當



度の確立で達成されたものと思いま
す。しかし「強い組織」についてま
若い世代の結集を目指としていま
したがまだまだ実現には至っていない
せん、今後は還暦を迎えた30回生日
降の世代の方々が鶴嶺会運営の主力
として活動していくだく時代になり
ました。各学年の代表幹事を始め同
世代の皆様には、鶴嶺会運営への
協力を切にお願いする次第です。
残念なことに本年度は新型コロナ
ウイルス

陸会、そして直近の高校68回生まで全ての卒業年度から年会費のエールを実現できました。鶴淵会会員の皆様の母校応援に感謝申し上げます。おかげさまで、毎年母校の体育文化振興への応援は目標通りの支え活動が続けられ、本年度110周年記念事業も応援しています。

さて、徳田前会長が目標に掲げていました、「強い組織、強い財政

徳田靖之会長は「母校創立110周年を機に」辞意を表明され、9月5日の総会にて音健一さん（高校21回生）が新会長に就任しました。

徳田会長九年間ありがとうございました
会長バトンは高校20回生世代へ

新会長に菅健一さん就任

豊	福	羽	加	高	德
島	島	野	藤	松	田
正	成	義	知	右	媛
明	人	孝	門	（	（
1	回	回	回	回	回
2	回	回	回	回	回
3	回	回	回	回	回
4	回	回	回	回	回
5	回	回	回	回	回
6	回	回	回	回	回

菅健一さんのプロフィール
昭和25年8月1日生まれ、70歳
菅建材工業㈱代表取締役、公益社団法人別府人会会長、NPO別府八湯温泉トラスト代表理事、別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」副実行委員長、長年鶴嶺会活動に携わっており、母校創立90周年、百周年記念事業では実行委員を勤めました。

菅健一さんのプロフィール

ウイルスの影響で鶴嶺会員が一堂に会する総会懇親会も中止を余儀なくされた。が、これをチャンスに若い世代の皆さんと鶴嶺会活動の再構築をじっくりと考え、若い世代や女性会員も多数参加していただけた様な「明るく和やかな同窓会」にしたいと思います。そのためにも鶴嶺会会員の皆様のご理解ご協力をお願い申し上げる次第です。

方5日の総会にて音健一さん（高校21回生）の総会で高松会長から会長職を引き継ぎの転換を実現、鶴嶺会の財政基盤を確立す

新型コロナウイルス感染防止のため
体育・文化諸活動自粛へ

同窓会では皆さまから納入いた
だいた個人年会費で母校の体育・
文化活動を支援してきました。と

令和元年度個人年会費納入実績

1,629名 449万円6千円

昨年度実績より19万6千円増加
※新型コロナウイルス蔓延する中で、多数の同窓生の皆様から

多くの会員が納入されたことに心から感謝します。
今年度は母校創立 110 周年記念事業を支援

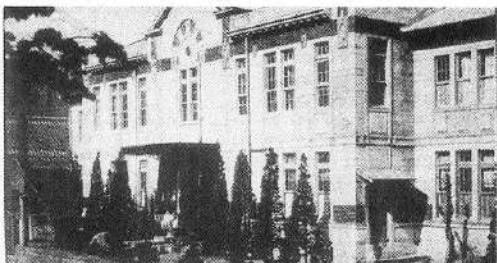
ウイルス感染防止のため各部活動も「3密防止」のためままならず、休止や自粛せざるを得ませんでし
た。

このような状況下で学校側も例年支援先推薦については苦慮し、同窓会と協議のうえ、母校創立10周年記念事業の支援に充当することといたしました。

記念事業そのものも自粛のため、大がかりな企画には取り組めず、母校体育館での式典、講演会のほかには校門の広告塔の補修や記念招待試合などが計画されています。

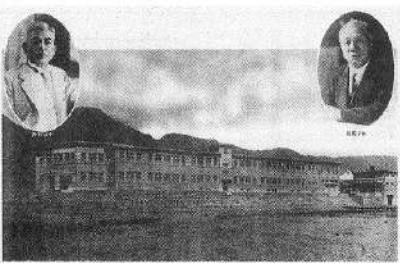
【舍へ!】校長 石井 和治
本校に赴任しました。県下有数の進学校としての実績を誇るだけでなく、バレー・ボーラー・新操・バドミントンなど全国にも名を轟かす部活動が活躍する名門校の教育に携われることに責任の重さを感じるとともに、生徒の成長に期待を膨らましているところです。
県内だけにとどまらず、全国で紹介深められる鶴巣会の皆さまの厚いご支援のおかげで、今年、本校は110周年を迎えます。これからも、皆さまのご期待に応えられるよう、教職員一丸となつて取り組んでまいります。

祝 母校創立110周年



町立別府高等女学校(大正11年)

現在の山本病院(秋葉通り)の位置に建っていた校舎。同窓会名「一つ松会」は、写真左端の校門に見える松の木に由来します。



建設当時の別府中学校(昭和9年)

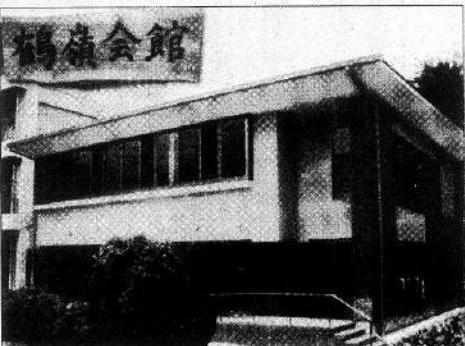
完成当時の校舎。モダンなデザインだった。写真左は平山茂八郎市長、右は兼子鎮雄校長。

大分県立別府鶴見丘高等学校
昭和30年代の校舎

大分県立別府鶴見丘高等学校は、明治43年(1910年)に、その前身である「私立別府女学校」の誕生に始まりました。別府女学校は、その後「県立別府高等女学校」(「一つ松会」はその同窓会)に発展し、昭和9年に開校した待望の男子校(別府中学校)と昭和23年に合併して「別府第一高等学校」となり、(翌年には、定期制も開校)その後、昭和26年に「大分県立別府鶴見丘高等学校」と改称され今日に至っています。

今春、高校第72回の卒業生を送り出しましたが、この間の卒業生総数は3万人を越え、一つ松会、鶴嶺会会員は、国内はもとより、広く世界でも活躍しています。

- 創立110周年記念式典および行事
- 式典以外に次のような行事が予定されています。
 - 記念講演会
 - 記念招待試合
 - 卒業生座談会
 - 校門広告塔修復
 - 野球・バレーボール
 - バドミントンなど



「鶴嶺会館建設」

入口看板揮毫は高松 右門 会長(高校11回生)

創立100周年記念
平成22(2010年)



百周年記念史

創立90周年記念
平成12(2000年)



「校訓碑」

書 後藤 修廣 校長(高校13回生)

90周年記念誌

これまでの周年記念のモノニュメント
創立75周年記念 昭和60(1985)年



コロナ禍の前に同窓会 高校58回生 オリンピックの年に集まろう

1月2日、別府亀の井ホテルにて。久し振りの再会に先生を含めて77名が出席。「また是非集まろうよ。」の声に元気が出ました。

(代表幹事 西野文貴さん)



高校70回生 20歳(はたち)の同窓会

1月11日午後5時よりホテルサンパリーに生徒204人が大集合。恩師15名も出席してくれました。手紙でなくメール案内主体でこれだけ集まりました。

(代表幹事 木畠凜太郎さん)



閉課程記念「螢陵之碑」

会においてその状況を発表し協議をした結果、
陵会単独の活動を今回も終了し、以
後鶴嶺会に合流することと決定しました。
宮崎会長は「私も大変苦労しました。喜びも人
一倍味わい、良き思い出が残る14年間でした。感謝
とお礼を申し上げます。」と寂しい表情で、「鶴
嶺会の一員として個人年会費(1口千円以上)を今
後とも納入お願いします」と語りました。

昭和53年に設立されて以来、会長はじめ役
員体制も組織立てられ最近までずっと、毎
年総会を開催して活動が続いていました。
しかし、活動に参加する方が次第に減つ
てきて、今後の活動方向について会長の宮
崎勝義さんは悩み、役員の皆さんにアンケートで問いか

「螢陵会」独自活動に幕

自分が役員を担当できない。
鶴嶺会に合流することを希望する
が大半でした。
昨年12月の総



昨年12月最後の総会、懇親会

代表幹事の皆さま、同期会のお世話ありがとうございます。

卒業回	氏名	卒業回	氏名
別中3	前川 泰通	高校38回	藤本 成一
高校2回	糸永 啓一郎	高校39回	宮崎 省三
高校3回	糸永 文雄	高校40回	吉見 一英
高校4回	高倉 宗一郎	高校41回	塩月 太郎
高校5回	芦刈 義昌	高校42回	石吾 武士
高校6回	岡村 久人	高校43回	清瀬 善一郎
高校7回	野崎 康汎	高校44回	山本 裕一
高校8回	江藤 勝彦	高校45回	青野 友和
高校9回	重松 邦知	高校46回	田北 邦寿
高校10回	井田 逸明	高校47回	姥谷(高平)智子
高校11回	吉本 安宏	高校48回	池部 純政
高校12回	幸重 繩二	高校49回	池田 廉宗
高校13回	野村 幸雄	高校50回	尾林 大生
高校14回	野上 泉美	高校51回	西 貴之
高校15回	栗原 稔	高校52回	(選任中)
高校16回	数野 太一	高校53回	岡本(佐々木)章乃
高校17回	高田 利徳	高校54回	(確認中)
高校18回	栗尾 真行	高校55回	秋吉 普恵
高校19回	友永 英治	高校56回	
高校20回	永井 正	高校57回	
高校21回	菅 健一	高校58回	
高校22回	(選任中)	高校59回	
高校23回	高橋 譲	高校60回	
高校24回	甲斐 直彦	高校61回	吉田 真樹
高校25回	明石 泰信	高校62回	山下 直人
高校26回	幸 稔	高校63回	石田 智基
高校27回	嵩地 秀雄	高校64回	永井 利英
高校28回	小野 正明	高校65回	吉田 藏前
高校29回	原田 敦明	高校66回	西野 文貴
高校30回	中塚 茂次	高校67回	小島川 翼
高校31回	岩屋(田北) 知子	高校68回	栄木 和也
高校32回	菊池 浩	高校69回	(確認中)
高校33回	井上 大樹	高校70回	岡本(佐々木)章乃
高校34回	都留 賢一	高校71回	
高校35回	廣田(庄) 雅代	高校72回	

各卒業回代表幹事紹介

代表幹事をご紹介します。

各回代表幹事の皆さまには同期会の開催などいろいろとお世話をいただき感謝申し上げます。

当初からの代表幹事が交代している回期もありますので、この110周年を機に現在の代表幹事をあらためて紹介しておきます。お互いに情報交換して鶴嶺会活動のさまざまなお題について協議しています。

「代表幹事会は」は年に5回から6回開催され、同窓会活動のさまざまなお題について協議しています。

事務局長就任あいさつ 御手洗 茂(高校24回生)
精いっぱい勤めます
令和元年度の総会において事務局長に就任せました。永年、勤められていました栗原副会長のもと、一年が過ぎようとしています。

同窓会「鶴嶺会」は、伝統ある会であり、多くの素晴らしい諸先輩方がおられ、身の引き締まる思いであります。

同窓会「鶴嶺会」は、伝統ある会であり、多くの素晴らしい諸先輩方がおられ、身の引き締まる思いであります。前事務局長に学びながら微力ではあります。が、精いっぱい勤めさせていただきます。



事務局長退任あいさつ 栗原 稔(高校15回生)



事務局長退任あいさつ 栗原 稔(高校15回生)



ご協力ありがとうございました。
創立100周年記念事業の事務局長
を引き受け、募金活動を開始して以来
13年間事務局長を担当してきました。
鶴嶺会という絆を縁としてさまざま
な人に巡り合え真に充実した時間を過
ごすことができました。
盛大な懇親会等々、皆さまには多大な
ご協力ありがとうございました。

令和 2 年春の進学状況

(含既卒生)

私立 4 年制大学 223 名合格

令和元年度決算報告

九州大学
筑波大学
北海道大学、東京外語大学、
長崎大学(薬)、鹿児島大学(医医)

大分大学
熊本大学
鹿児島大学
宮崎大学
北九州市立大学
広島大学、長崎県立大学
佐賀大学、長崎大学、
大分看護科学大学

国公立大学 126 名合格

各 1 名
2 名

関西学院大学、同志社大学
中央大学、西南学院大学
青山学院大学、立命館大学、
立命館アジア太平洋大
法政大学、明治大学、関西大学
早稲田大学、自治医科大学
福岡大学
日本文理大学
別府大学
久留米大学
近畿大学

各 3 名
各 2 名
各 1 名
など
13 名
14 名
15 名
17 名
30 名

大分大学
熊本大学
鹿児島大学
宮崎大学
北九州市立大学
広島大学、長崎県立大学
佐賀大学、長崎大学、
大分看護科学大学

4 名
6 名
7 名
8 名
11 名
42 名

各 3 名
など
紙面の都合上すべてを掲載できませんが
ご了承ください。詳細は母校のホームページ
にて見ることができます。
HP では母校のさまざまな行事やニュースも日々更新されていますのでぜひご覧ください。

鶴嶺文庫

卒業生の著作を収集し保存しています。
前号以降にご寄贈いただいた卒業生の著作。

「イエスの生涯とそのみ業
福音書による説教」

松本 貞平様(高校 2 回生)

「梯橋燃ゆ 沖縄復帰騒動記
短歌誌 NANIWА 43 号」

村山(森) 美恵子様
(高校 7 回生)

「ほくとのみづくみ」

「母の武士道」
(監修) 平井 正則様
(高校 14 回生)



高松 タヨ様 高松 右門様
(高校 11 回生)

「見たままのアメリカ
日本の未来あした」

新居崎 满枝様 吉本 浩子様
(高校 15 回生)

「ムンク 生涯と作品
代表作者でわかる
ロマンシェ」(著者 原田 マハ)
への特別寄稿

富田 章様(高校 29 回生)

令和元年度会計決算報告 (令和元年8月1日～令和2年7月31日)

一般会計

収入の部 (円)		
項目	決算額	備考
前年度繰越金	6,653,120	
入会金	1,280,000	256名×5,000円
年会費	4,496,000	
納付金	135,830	総会納付金
雑収入	4,017	「百年史」販売、預金利息
合計	12,568,967	

支出の部

項目	決算額	備考
事業費	1,600,000	振興資金へ繰入
	623,919	祝儀、卒業記念印鑑・賞状ホルダー
交通費	226,200	地域鶴嶺会出席
慶弔費	29,864	
印刷費	911,109	封筒、振込用紙、会報
会議費	7,322	
事務費	48,365	
通信費	14,975	電話料
郵送費	991,577	全国会員へ郵送
広告費	22,000	合同新聞
作業委託費	268,370	封入作業費など
支払手数料	300,806	振込手数料値上げ
保険料	78,900	火災保険
人件費	360,000	事務局長手当
雑費	27,000	
合計	5,510,407	

次年度繰越金 7,058,560

体育・文化振興会会計

収入の部 (円)		
項目	決算額	備考
前年度繰越	120,519	
繰入金	1,600,000	一般会計より繰入
預金利息	2	利息等
合計	1,720,521	

支出の部

項目	決算額	備考
事業費	991,041	母校部活動支援
	159,000	大会出場補助
合計	1,150,041	

次年度繰越金 570,480

※コロナウイルス感染予防のため全国大会が中止となり
補助金支出が少なかった。

特別基金会计

収入の部 (円)		
項目	決算額	備考
前年度繰越	9,385,202	
預金利息	703	
合計	9,385,905	

※支出はありません。

次年度繰越金 9,385,905

恒例の鶴嶺会総会・懇親会は、
別府ビーコンプラザで盛大に開催
されました。今年度は予期
せぬ新型コロナウイルス感染防止
のため懇親会はやむなく中止せざ
るを得ず、総会は鶴嶺会館にて、
役員・各回代表幹事にお集まりい
ただき、決算案件など審議いたし
ました。

この会議におきまして「この機
会に懇親会の進め方、さらには会
のものをさらに発展させるため
のため懇親会運営の見直しを」という建
設的提案もなされ今後検討してい
くことになりました。
新会長のもの、若い会員の意見も
取り入れて鶴嶺会の新しいペー
ジが開かれることが期待されます。

母校創立 110 周年をお祝い申し上げます

東京鶴嶺会

会長

山本 信也
(高校 24 回生)



幹事長 岩田 修 (高校 31 回生)

関西鶴嶺会

会長

熊谷 俊郎
(高校 22 回生)



事務局長 近藤 史郎 (高校 20 回生)

福岡鶴嶺会

会長

高橋 雅成
(高校 28 回生)



事務局長 諸石 克己 (高校 29 回生)